

3・11と子どもたち

日程: **2013年3月10日(日)**

入場
無料

場所: **アバンセ**4階第二研修室A(佐賀市天神3-2-11)

C O N T E N T S

10:00 -16:00

【写真展】

”EYE SEE TOHOKU”

～子どもたちの目が見る被災地の今と明日～

(3月11日(月)13時～15日(金)12時まで、県庁1階県民ホールにて継続展示予定)



13:00-16:00

【講演会①】



東日本大震災における子どもの心のケア

講師: 三ヶ田智弘氏

肥前精神医療センター・大分こども療育センター
小児科医



【講演会②】



フクシマは、今...

講師: 佐藤一夫氏

福島県ユニセフ協会常務理事・事務局長
(福島県生活協同組合連合会専務理事)



東日本大震災から2年。あの日の記憶と、被災地での実体験談に触れることで、見えてくるものとは...

主催: 佐賀県ユニセフ協会

後援: 佐賀県 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞佐賀支局 西日本新聞社
佐賀新聞社 NHK佐賀放送局 STSサガテレビ エフエム佐賀 NBCラジオ佐賀

(問) 佐賀県ユニセフ協会

〒840-0054 佐賀市水ヶ江4-2-2

TEL&FAX 0952-28-2077

E-MAIL unicef-saga@ams.odn.ne.jp

講師紹介

東日本大震災における子どもの心のケア

肥前精神医療センター・大分子ども療育センター小児科医
三ヶ田智弘氏

【2011年3月20日～26日】宮城県塩釜地区、多賀城地区、松島地区

【2011年4月29日～5月8日】岩手県宮古市

上記時期・場所に佐賀県の心のケアチームの一員として特に子どもの心のケアを担当するために任地へ赴任。

任地では避難所などで子どもと保護者の心のケアに携わるとともに支援者の支援活動などを行う。

フクシマは、今・・・

福島県ユニセフ協会常務理事・事務局長(福島県生活協同組合連合会専務理事)
佐藤一夫氏

【2011年5月】 おもいっきりそと遊びプロジェクト開始

福島県ユニセフ協会の取り組みとして、福島市・郡山市の保育園、幼稚園の園児を線量の低い地域に連れていって、おもいっきり外で遊んでもらう企画を実施。

2011年11月まで、延583園、40,173人を保養

【2011年10月】 ベラルーシ・ウクライナ福島調査団の一員として参加。

原発災害の福島で取り組むべき課題を学び、帰国後、下記具現化を図る。

【2011年12月】 福島子ども保養プロジェクト開始

皆無であった乳幼児や未就学児を保護者とともに低線量の地域にお連れして保養するプロジェクトを日本生協連や日本ユニセフ協会に支援をお願いし、福島大学災害復興研究所、福島県生協連、福島県ユニセフ協会の共催でスタートさせる。

2012年12月まで、12,576人を保養。

【2012年9月】 食品放射線測定器を県内30ヶ所に設置

【2012年10月】 土壌スクリーニングプロジェクト開始

※この間、北は北海道から南は沖縄まで30を超える場所で「福島の現状」を報告して歩く。
20を超える団体の被災地視察を受け入れる。

EYE SEE TOHOKU

～子どもたちの目が見る被災地の今と明日～



2013年3月11日(月)13:00 ～ 3月15日(金)12:00(予定)まで

ユニセフ写真展

佐賀県庁県民ホールにて

“EYE SEE TOHOKU” ～子どもたちの目が見る被災地の今日と明日～

開催！！

☆佐賀県庁主催の「3.11東日本大震災復興写真展2013」および「みやぎの農業・農村復旧・復興パネル展」と同時開催。

入場
無料

unicef